一般質問

9月定例会では、議員4名・8件の一般質問を行いました。



八木田和浩議員

質問①

アポイ登山道6合目付近の伐採について

問 伐採について町長は知っていたのか。

答 すべてを確認していなかったが立場上知らなかったとは申せない。

問 なんの目的に切ったのか、本当に切る必要性があったのか。

答 高山植物を再生させるための実験として必要で、活動PRのため登山道付近の木を切った。

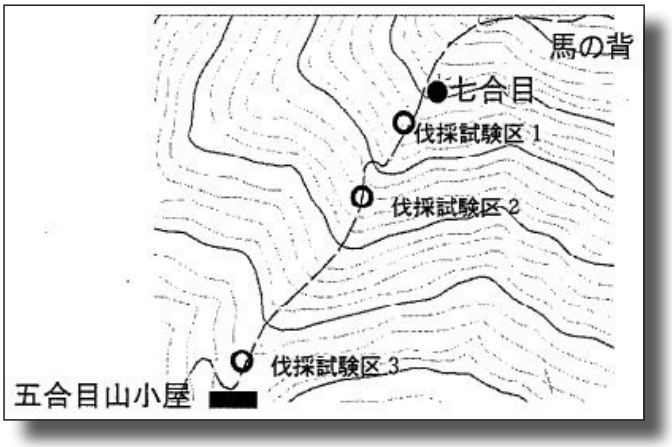
問 伐採に当たりどこの誰の許可を得ていたのか。

答 北海道知事 鈴木直道、文化庁長官 宮田亮平。

町民との十分なコンセンサス無し（議会も誰一人知らなかった）。

問 伐採した木の本数と種類と樹齢について

答 １００年物、80年物、50年物ほか（標高の高いところでは50年物が多い）。



←伐採試験区の位置

伐採した樹種と本数

樹　種	試験区１	試験区２	試験区３	合　計
キタゴヨウ	３５	１３	6	５４
アオダモ	１１	1	0	１２
チシマザクラ	6	0	0	6
ミズナラ	4	0	1	5
アカエゾマツ	2	0	2	4
トドマツ	1	0	1	2
イタヤカエデ	1	0	1	2
アズキナシ	0	0	1	1
キタコブシ	1	0	0	1
合　計	６１	１４	１２	８７



活動PR ＞ 自然

問 ジオパーク推進により結果的に一部とはいえ残せる自然と景観を破壊していると思うが伐採後の状況を見てどう感じられているか。

答 今回の伐採については自然環境を破壊しているという一面は否めない。あえて登山道横に試験地を持ってきた理由に、こうしたやむを得ない実験を行わざるを得ないほど、アポイ岳の高山植物群はひっ迫した状況であると登山者に伝えたいという思いがあった。



水野洋一議員

質問①

小中学生のインターネットやスマートフォンの使用状況とその問題点等について

問 小中学生のインターネットやスマートフォンの使用状況及びオンラインゲームや動画視聴、会員制交流サイト（ＳＮＳ）等の使用状況を調査されたかどうかについて。

答 インターネットの利用は小学校では82・31％、中学校では94・5％。

スマートフォンの使用状況は小学校は42・86％（保護者のもの借用含む）、中学校では91・67％。

オンラインゲームの利用は、小学校は63・27％、中学校では61・9％。

動画視聴については、小学校では94・56％、中学校では92・86％。

会員制交流サイト（ＳＮＳ）等の使用状況は小学校では46・96％、中学校では89・29％。

問 使用の問題点や危険性について、どの段階でどのような指導がなされているか。

答 使用上では、学校管理下のもとではなく、各家庭の管理下のことになる為、児童生徒及び保護者に対しても周知をし注意喚起をしている。小中学校では、道徳の時間等の中で指導し、個人情報の扱い方などについて指導している。特に近年のＳＮＳなどについて、一度出した情報が拡散し、消せない状況になる等十分気をつけるよう呼び掛けている。



質問②

海水浴場の管理・運営の現状と今後の方向性について

問 管理棟の設備や備品の現況について。約5年前に指摘した廃棄すべきロッカーがまだ撤去されていないのはなぜか。また、撤去費用は幾らか。

答 管理棟の設備・備品は、多くは北海道の所有で、毎年修繕の依頼をするとともに、使用できない設備等の撤去を依頼しているものの、予算の関係もあり、対応いただいていない。撤去の費用は約10万円と試算している。

問 〝様似町の窓口〟の施設として重要なことは何か。ジオパークや観光パンフレットがないのはなぜか。色々な要望・意見を聞くため、目安箱等を徴する考えはあるか。

答 今年は残念ながら、パンフレット等を用意出来なかったが、来年度は考えていきたい。目安箱等についても考えていきたい。

質問③

〝防災〟において、町が行うべき役割と責任について

問 「9月1日」は〝防災の日〟ですが、この日町としてどのような事業等が実施したかについて。またこの日の趣旨と、誰が決めたのか。

答 9月1日に防災に関連した事業等は行ってはいない。ただ、広報「さまに」に防災啓発の基準を掲載。9月9日に高齢者が集うサークルで防災をテーマにした講話を実施。中学校では、生徒に段ボールベットの組み立て等のワークショップを実施。10月2日には小学校で、1日防災学校を実施する。〝防災の日〟の趣旨は勉強不足で承知していないが、国が定めたものと認識している。

問 9月7日北海道新聞に掲載された、避難所で新型コロナウィルスの感染防止に必要な4品目の備蓄についてのアンケートで、想定必要数を備えてない日高管内の町として、様似町が入っているが、詳細について。

答 アンケートは、全町民が災害発生後3日間必要とする想定必要数と備蓄数量を問うている。マスクは2万5千枚に対し1万4千枚。消毒液は375リットルに対し210リットル、またパーテンションと段ボールベットは、備蓄はない。

問 避難所設置、避難所備品、避難に係る不安解消の為の住民・自治会の意見を徴した資料等の有無について。

答 住民や自治会から意見を伺ったことはない。

